

## 6 生活習慣病予防

死亡原因の6割はがん、脳卒中、心臓病などで占められている。板橋区では、これら生活習慣病の早期発見、早期治療を目的として、健康増進法による各種の健康診査などの保健事業を実施している。

### (1) 健康教育<健康推進課・健康福祉センター>

生活習慣病の予防、健康の増進その他健康に関する正しい知識の普及を図ることにより、「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高め、壮年期からの健康の保持増進を目的として、集団健康教育などを開催している。

表6-1 健康教育実施状況 (平成26年度)

種 別	回 数		参 加 者 数	
歯 周 疾 患	31	(31)	629	(629)
骨 粗 しょう 症	1	(1)	23	(23)
病態別生活習慣改善予防教室	6	(0)	297	(0)
薬	1	(1)	26	(26)
一 般 健 康 教 育	840	(838)	20,630	(20,581)
が ん 予 防 健 康 教 育	26	(24)	510	(430)
総 数	905	(895)	22,115	(21,689)

※ ( )は健康福祉センター職員実施分である。

### (2) がん検診<健康推進課>

がんによる死亡は昭和51年以降本区における死因の第1位を占めつづけている。

区では、がんの早期発見を目的として、各種のがん検診を実施している。また、必要に応じ精密検査の受診を勧奨している。

#### ① 胃がん検診

40歳以上の区民を対象として、区役所、区内の施設において、検診車などで問診及び胃部X線検査を実施している。

表6-2 胃がん検診実施状況

(平成26年度)

年 齢	性 別	実施回数	受診者数	検 診 結 果		
				異常なし	要精密検査	判定不能
総 数		117	5,178	4,389	781	8
	男		2,280	1,942	331	7
	女		2,898	2,447	450	1
40～49歳	男		318	289	26	3
	女		580	517	62	1
50～59歳	男		256	226	30	-
	女		480	419	61	-
60～69歳	男		731	628	102	1
	女		947	812	135	-
70～79歳	男		741	616	122	3
	女		744	586	158	-
80歳以上	男		234	183	51	-
	女		147	113	34	-

## ② 子宮がん検診

20歳～29歳及び30歳以上偶数年齢の女性区民を対象に、区内の実施医療機関で問診、視診、細胞診(子宮頸部。ただし、一定の条件に該当し、医師が必要と認めた場合には子宮体部も実施)、内診を実施している。

表6-3 子宮がん検診実施状況

(平成26年度)

年 齢	受診者数	検 診 結 果			
		異常なし	要 指 導	要精密検査	判定不能
総 数	9,046	8,839	71	136	-
20～29歳	903	873	7	23	-
30～39歳	2,162	2,098	21	43	-
40～49歳	2,628	2,561	23	44	-
50～59歳	1,571	1,540	12	19	-
60～69歳	1,267	1,255	5	7	-
70～79歳	462	460	2	-	-
80歳以上	53	52	1	-	-

※ 平成21年度から女性特有のがん検診推進事業を実施している。受診者数(内数)167人。

③ 肺がん検診

40歳以上の区民を対象として、区役所、区内の施設において、検診車などで実施している。

検診は、問診及び胸部X線撮影を受診者全員に実施するほか、多量喫煙者、血痰の出る方などには、かくたん細胞診検査を実施している。

表6-4 肺がん検診実施状況

(平成26年度)

年 齢	性 別	実施回数	受診者数		検 診 結 果		
				かくたん検査	異常なし	要精密検査	判定不能
総 数		107	5,097	658	4,755	342	-
	男		2,305	491	2,127	178	-
	女		2,792	167	2,628	164	-
40～49歳	男		336	55	324	12	-
	女		598	31	580	18	-
50～59歳	男		262	64	246	16	-
	女		466	39	446	20	-
60～69歳	男		735	185	685	50	-
	女		878	59	828	50	-
70～79歳	男		742	150	670	72	-
	女		698	29	641	57	-
80歳以上	男		230	37	202	28	-
	女		152	9	133	19	-

④ 乳がん検診

40歳以上偶数年齢の女性区民を対象に、区内の実施医療機関で行っている。

検査方法は、撮影医療機関によるマンモグラフィ(乳房X線撮影)検査と、総合判定医療機関による問診、視診、触診により実施している。

表6-5 乳がん検診実施状況

(平成26年度)

年 齢	受診者数	全 部 受 診 者 数	検 診 結 果		一 部 受 診 者 数※
			異常なし	要精密検査	
総 数	6,198	6,091	5,218	873	107
40～49歳		2,999	2,523	476	
50～59歳		1,371	1,182	189	
60～69歳		1,238	1,077	161	
70～79歳		440	396	44	
80歳以上		43	40	3	

※ 一部受診者とは、マンモグラフィ検査のみを受け、総合判定医療機関での受診をしていない者をいう。これらの者は総合判定が行われていないため、検診結果がない。

※ 平成21年度から女性特有のがん検診推進事業を実施している。受診者数(内数)703人。

⑤ 前立腺がん検診

55歳・60歳・65歳・70歳・75歳の男性区民を対象に、問診、血液検査(PSA測定)により実施している。

表6-6 前立腺がん検診実施状況 (平成26年度)

年 齢	受診者数	検 診 結 果	
		異常なし	要精密検査
総 数	4,356	3,927	429
55歳	547	531	16
60歳	563	538	25
65歳	1,233	1,129	104
70歳	1,065	938	127
75歳	948	791	157

⑥ 大腸がん検診

35歳以上の区民を対象に、問診及び便潜血反応検査により実施している。

表6-7 大腸がん検診実施状況 (平成26年度)

年 齢	性 別	受 診 者 数	検 診 結 果		
			陰性反応	陽性反応	検体不良
総 数		80,249	72,911	7,306	32
	男	30,665	27,232	3,418	15
	女	49,584	45,679	3,888	17
35～39歳	男	1,120	1,069	50	1
	女	2,616	2,449	167	-
40～49歳	男	3,682	3,470	211	1
	女	5,428	5,086	340	2
50～59歳	男	3,542	3,251	291	-
	女	5,587	5,286	299	2
60～69歳	男	7,841	6,937	900	4
	女	12,155	11,367	785	3
70～79歳	男	9,641	8,406	1,229	6
	女	15,179	13,929	1,245	5
80歳以上	男	4,839	4,099	737	3
	女	8,619	7,562	1,052	5

⑦ 喉頭がん検診

50歳以上の区民のうち、タバコを吸う方、最近声がかすれてきた方又はのどに異物感がある方を対象に、区内の実施医療機関で問診、間接喉頭鏡検査及びファイバースコープ検査により実施している。

表6-8 喉頭がん検診実施状況 (平成26年度)

年 齢	性別	受診者数	検 診 結 果		
			異常なし	要精密検査	その他の所見
総 数		1,074	788	5	281
	男	555	396	3	156
	女	519	392	2	125
50～59歳	男	69	49	1	19
	女	94	72	1	21
60～69歳	男	177	118	1	58
	女	144	109	1	34
70～79歳	男	226	175	1	50
	女	208	156	-	52
80歳以上	男	83	54	-	29
	女	73	55	-	18

⑧ 胃がんリスク検診

40歳・50歳・60歳の区民を対象に、問診、血液検査(血清ペプシノゲン値・ピロリ菌抗体値)により実施している。(平成26年度より開始)

表6-9 胃がんリスク検診実施状況 (平成26年度)

年 齢	性別	受診者数	検診結果	
			異常なし	要精密検査
総 数		4,094	3,160	934
	男	1,456	1,090	366
	女	2,638	2,070	568
40歳	男	574	480	94
	女	1,062	909	153
50歳	男	456	354	102
	女	821	663	158
60歳	男	426	256	170
	女	755	498	257

### (3) 眼科検診＜健康推進課＞

50歳と55歳の区民を対象として、白内障、緑内障などの眼科疾病の早期発見、早期治療を目的に、区内の実施医療機関で、問診、精密眼圧検査、精密眼底検査、細隙燈顕微鏡検査、矯正視力検査及び屈折検査を実施している。

表6-10 眼科検診実施状況 (平成26年度)

年 齢	性別	受診者数	検 診 結 果			
			異常なし	要注意	要精密検査	要医療
総 数		1,811	1,165	298	227	121
	男	573	345	102	90	36
	女	1,238	820	196	137	85
50歳	男	300	191	50	38	21
	女	664	465	81	73	45
55歳	男	273	154	52	52	15
	女	574	355	115	64	40

(4) 骨粗しょう症予防検診＜健康推進課＞

40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳及び70歳の女性区民を対象として、骨粗しょう症の予防、早期発見、正しい知識の普及及び啓発を図るため、区内の実施医療機関で問診、握力測定及び骨密度測定により実施している。

表6-11 骨粗しょう症予防検診実施状況 (平成26年度)

年 齢	受診者数	検 診 結 果		
		安全域	予防域	要精密検査域
総 数	7,390	3,895	2,830	665
40歳	1,085	941	131	13
45歳	770	650	113	7
50歳	1,011	843	154	14
55歳	860	515	308	37
60歳	979	394	518	67
65歳	1,434	350	872	212
70歳	1,251	202	734	315

(5) 成人歯科検診＜健康推進課＞

歯を失う大きな原因とされている歯周疾患等の早期発見、早期治療を目的とし、健全な口腔状況の確保を目指し、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳及び70歳の区民を対象として、区内の歯科医療機関で問診、現在歯・喪失歯・歯周組織の状況検査を実施している。

表6-12 成人歯科検診実施状況 (平成26年度)

年 齢	性 別	受診者数	検 診 結 果							
			異常なし	要指導	要精検	( 内 訳 )				
						歯石除去・ 経過観察 等が必要 である	歯周疾患 の治療が 必要であ る	未処置歯 がある	要補綴歯 がある	そ の 他
総数		3,775	314	125	3,336	2,000	1,570	1,471	381	858
男		1,454	102	42	1,310	793	650	626	169	329
女		2,321	212	83	2,026	1,207	920	845	212	529
40歳	男	200	11	6	183	134	75	96	10	38
	女	340	30	14	296	190	126	147	14	78
45歳	男	187	11	4	172	117	76	86	11	41
	女	287	34	14	239	160	77	98	13	70
50歳	男	197	10	6	181	115	91	90	15	44
	女	311	18	14	279	176	117	118	19	72
55歳	男	154	8	3	143	91	67	63	18	29
	女	285	17	7	261	164	113	113	22	72
60歳	男	148	8	7	133	76	71	67	21	39
	女	261	24	7	230	134	114	87	31	57
65歳	男	306	25	7	274	150	140	125	53	71
	女	428	49	13	366	202	187	132	54	82
70歳	男	262	29	9	224	110	130	99	41	67
	女	409	40	14	355	181	186	150	59	98

## (6) 健康診査

### ① 区民一般健康診査<健康推進課>

36歳から39歳の区民及び40歳以上の生活保護受給者等を対象に、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の予防に重点をおいた健康診査を実施している。

表6-13 区民一般健康診査 (平成26年度)

年 齢	性別	受診者数	検 査 区 分		保 健 指 導 区 分		
			外来診査	訪問診査	情報提供	動機づけ支援	積極的支援
総 数		6,753	6,714	39	4,475	1,405	873
	男	2,706	2,693	13	1,364	756	586
	女	4,047	4,021	26	3,111	649	287
36～39歳	男	661	660	1	448	85	128
	女	1,683	1,683	-	1,570	65	48
40歳以上	男	2,045	2,033	12	916	671	458
	女	2,364	2,338	26	1,541	584	239

### ② 35歳健康診査<健康福祉センター>

35歳の区民を対象に、健康づくりの動機づけと、こころとからだのトータルチェックを目的とした健康診査を、各健康福祉センターが直営で5回ずつ実施している。健診日と結果日に健康に関するミニ講座(健診結果の見方、生活習慣、歯、食事、ストレス等)を実施している。

併せて、うつスクリーニング問診票による聞き取りを行い、ハイリスク者に対しては精神保健福祉相談等の既存事業へつなげることによって適切な支援を行い、若年層のうつ・自殺予防を図っている。

表6-14 35歳健康診査実施状況 (平成26年度)

項 目	総 数	保 健 指 導 区 分		
		情報提供	動機づけ支援	積極的支援
実 施 回 数	25			
受 診 者 数	1,283	1,121	86	76
	男	348	242	44
	女	935	879	42

表6-15 うつスクリーニング実施状況(平成26年度)

実 施 者 数	1,280
個 別 対 応 者 数 (健康福祉センター事業、医療機関、 地区担当保健師紹介 等)	76 (5.9%)

③ 国民健康保険特定健康診査<健康推進課>

板橋区国民健康保険の被保険者のうち、40歳～74歳を対象にメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の予防に重点をおいた特定健康診査を実施している。

表6-16 国民健康保険特定健康診査実施状況(平成26年度)

対象者数 ※1	受診者数		暫定受診率(%)
100,930	45,304		44.9
	男	18,666	
	女	26,638	

表6-17 国民健康保険特定保健指導実施状況 (平成26年度)

	総 数	動機づけ支援	積極的支援
対 象 者 数 ※ 2	4,903	3,257	1,646
実 施 者 数 ※ 3	579	431	148
暫 定 実 施 率 ( % )	11.8	13.2	9.0

※1 健診対象者数は、平成26年4月1日現在の対象年齢の被保険者数。健診除外者除外前の数。国民健康保険団体連合会特定健診等データ管理システムによる。

※2 保健指導対象者数は、特定健診の結果から保健指導対象となった人数。保健指導除外者除外前の数。平成26年度より保健衛生システムで抽出している。

※3 保健指導実施者数は、初回面接終了者数。

④ 後期高齢者医療健康診査<健康推進課>

75歳以上の後期高齢者医療の被保険者を対象に、生活習慣病を早期発見するための健康診査を、国民健康保険特定健康診査に準じて実施している。

表6-18 後期高齢者医療健康診査実施状況(平成26年度)

対象者数 ※	受診者数		受診率(%)
52,037	28,008		53.82
	男	10,178	
	女	17,830	

※ 65歳～74歳で、一定の障がい認定を受けている被保険者を含む。

※ 対象者数は、東京都後期高齢者医療広域連合が平成26年4月1日現在の被保険者数から健診除外者の推計値を引いて算出。

**(7) 元気力(生活機能)チェック<介護保険課>**

要介護へのリスクを早期発見し、加齢による生活機能の低下を防ぎ、心身の機能の維持向上を目的とした介護予防事業につなげるため、65歳以上で要介護・要支援認定を受けていない方を対象に実施している。

表6-19 元気力(生活機能)チェック状況 (平成26年度)

年 齢	性別	対象者 把握数	判 定 結 果	
			二 次 予 防 事 業 対 象 者	二 次 予 防 事 業 非 対 象 者
総 数		57,620	13,057	44,563
	男	24,556	5,193	19,363
	女	33,064	7,864	25,200
65～69歳	男	7,267	1,211	6,056
	女	8,960	1,377	7,583
70～74歳	男	7,292	1,353	5,939
	女	9,581	1,894	7,687
75～79歳	男	5,419	1,212	4,207
	女	7,873	2,098	5,775
80～84歳	男	3,199	931	2,268
	女	4,624	1,618	3,006
85歳以上	男	1,379	486	893
	女	2,026	877	1,149

**(8) 肝炎ウイルス検診<健康推進課>**

35歳以上で平成14年度以降に肝炎ウイルス検診を受診したことがない区民を対象に、問診、B型・C型肝炎ウイルス検査を実施している。

表6-20 肝炎ウイルス検診実施状況 (平成26年度)

年 齢	性別	受診者数	B型肝炎ウイルス検査			C型肝炎ウイルス検査		
			受診者数	判 定 結 果		受診者数	判 定 結 果	
				陰 性	陽 性		現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が低い	現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い
総 数		9,535	9,488	9,432	56	9,491	9,448	43
	男	4,296	4,270	4,243	27	4,268	4,240	28
	女	5,239	5,218	5,189	29	5,223	5,208	15
35～39歳	男	564	561	558	3	564	563	1
	女	1,292	1,289	1,280	9	1,288	1,288	-
40～49歳	男	965	961	954	7	964	957	7
	女	1,137	1,132	1,128	4	1,136	1,136	-
50～59歳	男	688	683	677	6	684	679	5
	女	788	785	777	8	787	782	5
60～69歳	男	1,220	1,211	1,205	6	1,212	1,203	9
	女	1,024	1,018	1,011	7	1,024	1,023	1
70～79歳	男	655	651	647	4	644	641	3
	女	629	626	625	1	625	624	1
80歳以上	男	204	203	202	1	200	197	3
	女	369	368	368	-	363	355	8

### (9) 健康手帳の交付<健康推進課>

35歳以上の区民を対象に、健康診査・保健指導等の記録、その他の健康保持のために必要な事項を記載し、自らの健康管理と適切な医療に資することを目的として健康手帳を交付している。

表6-21 健康手帳交付状況 (平成26年度)

交 付 数	343
男	117
女	226

### (10) 生活習慣病予防事業<志村健康福祉センター>

生活習慣病を予防するために、「禁煙教室」と「みんなで体操」を実施している。

#### ① 禁煙教室

禁煙の専門医の講座や個別相談、グループワークを行うことにより、禁煙の仕方を伝えたり禁煙の継続を支援する。※( )内は、センター職員実施分

表6-22 禁煙教室実施状況 (平成26年度)

実 施 回 数	2回(1回)
参 加 者 数 ( 延 )	99(67)

#### ② みんなで体操

「みんなの体操」(NHK放送)を中心に、手軽にできる運動の集団指導を行い、家庭での運動の定着を目指し実施している。

表6-23 みんなで体操実施状況 (平成26年度)

実 施 回 数	40
参 加 者 数 ( 延 )	1,421

## 7 健康相談等

### (1) 区民結核健診<板橋・赤塚・志村健康福祉センター>

区内在住の16歳以上の方や、従業員10人未満の理容所等区内事業所で働く方を対象に健康診断や胸部X線検査を実施している。

表7-1 区民結核健診実施状況 (平成26年度)

項 目	総 数	板 橋	赤 塚	志 村
実 施 回 数	9	4	1	4
来 所 者 数	38	16	9	13

### (2) 区民健康なんでも相談<健康福祉センター>

健康に関する相談を通して、生活習慣病の予防及び早期発見、保健指導、健康管理に関する知識の普及を実施している。

表7-2 区民健康なんでも相談実施状況 (平成26年度)

項 目	総 数	板 橋	上板橋	赤 塚	志 村	高島平
相 談 者 数	9,593	2,729	1,202	2,720	1,935	1,007

### (3) 訪問看護指導事業<健康推進課> ※平成26年度終了

① 生活習慣病予防等の観点から、65歳未満の健康管理援助が必要な者に対して訪問指導を実施していた。

表7-3 訪問看護指導事業(65歳未満)実施状況 (平成26年度)

利用者数(延)	11
---------	----

② 介護予防の観点から、65歳以上の健康管理援助が必要な者に対して訪問指導を実施し、心身機能の低下防止と健康の保持増進を図っていた。

表7-4 訪問看護指導事業(65歳以上)実施状況 (平成26年度)

利用者数(延)	0
---------	---

## 8 感染症予防

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が一部改正され、平成19年4月1日から施行された。最近の海外の感染症発生の状況、保健医療を取り巻く環境の変化、生物テロなどによる感染症発生防止などを含めた総合的な予防対策を推進することとなった。

病原体等の所持規制や従来の感染症分類の見直しと共に結核予防法が廃止され同法は感染症法に統合され、結核は感染症類型の二類に分類された。

保健所では、感染症の発生・流行を未然に防ぐため、平常時防疫に努めるとともに、感染症発生時には的確な対応によりその拡大を防ぐため、健康危機管理機能の強化を図っている。

また、平成25年4月に「新型インフルエンザ等対策特別措置法」が施行されたことに伴い、区が既に作成してきた「板橋区新型インフルエンザ対応指針」等を一本化し、「東京都板橋区新型インフルエンザ等対策行動計画」を策定した。

### (1) 防疫対策＜予防対策課・健康福祉センター＞

#### ① 平常時防疫

保健所は感染症の発生、流行を未然に防ぐため、管内の衛生状態の把握に努めており、特に集団生活施設の児童、生徒の原因不明の多数欠席については、迅速かつ確実な届出をするよう医師会、学校等関係機関に協力を要請している。

また、区民の食生活に関係の深い飲食物取扱者に対し、定期的に勧奨検便を実施し、赤痢、O-157等の病原体保菌者の早期発見に努めている。

表8-1 感染症保菌者検索数(保健所分) (平成26年度)

		総 数	発生時防疫	平常時防疫	一般健康相談	
			患者・接触者	飲食物取扱従事者 集団給食施設従事者 等		
				夏期特別勧奨		
検 索 総 数		17,093	45 (23)	6,498	10,550	
陽 性 総 数		18 (-)	8 (-)	- (-)	10 (-)	
予 防 対 策 課	検 索	45 (23)	45 (23)	-	-	
	陽 性	8 (-)	8 (-)	-	-	
板 橋	検 索	6,399	-	2,081	4,318	
	陽 性	3 (-)	-	-	3 (-)	
上 板 橋	検 索	1,098	-	287	811	
	陽 性	2 (-)	-	-	2 (-)	
赤 塚	検 索	3,050	-	1,470	1,580	
	陽 性	3 (-)	-	-	3 (-)	
志 村	検 索	5,887	-	2,481	3,406	
	陽 性	2	-	-	2	
高 島 平	検 索	614	-	179	435	
	陽 性	-	-	-	-	

※ 陽性者には、感染症のほかに食中毒菌を含む。

※ 感染症(O-157)の件数は( )に再掲している。

表8-2 感染症保菌者検索数(東京都健康安全研究センター分)(平成26年度)

コレラ(患者・関係者)	-
海外旅行者検便	-
その他	7

② 発生時防疫

感染症法に基づき、医師から患者発生の届出を受けた保健所は、直ちに患者所在地保健所に連絡をとっている(主に三類感染症)。また、速やかに積極的疫学調査を実施し、家族や接触者に健康診断を勧告し、感染源の探索や潜在患者の早期発見と感染症のまん延防止に努めている。

表8-3 感染症発生届出等状況(平成25年12月30日～平成26年12月28日)

種 別	件 数
一類感染症	-
二類感染症	195
三類感染症	18
四類感染症	15
五類感染症	89

※五類感染症は全数把握疾病の届出数

表8-4 感染症診査協議会開催状況(平成26年度)

開催回数	24
------	----

(2) 感染症定点観測調査<予防対策課>

区では昭和55年4月から医師会の協力を得て区内の小児科、内科の医療機関のうち36か所を定点観測所として毎週発生状況の報告を求め、感染症の流行の実態把握を行っている。

情報を板橋区ホームページに掲載し速やかに地域に還元し、医療機関におけるプライマリケアの推進、予防接種の接種勧奨など適切な予防措置を講じ、感染症のまん延防止に努めている。

表8-5 板橋区感染症定点観測調査実績(平成25年12月29日～平成26年12月27日)

疾 病 名	報告件数	疾 病 名	報告件数
麻 し ん	-	風 し ん	3
水 痘	676	溶 連 菌 感 染 症	1,168
流行性耳下腺炎	332	手 足 口 病	556
突 発 性 発 し ん	438	川 崎 病	10
百日せき様疾患	21	ヘルパンギーナ	654
インフルエンザ様疾患	10,903	異 型 肺 炎	95
感染性胃腸炎	6,658	咽 頭 結 膜 熱	198
不明発しん症	155	そ の 他	-
伝 染 性 紅 斑	196		
		合 計	22,063

### (3) 性感染症予防〈予防対策課・健康福祉センター〉

保健所及び各健康福祉センターでは、性感染症のまん延防止及び潜在患者の早期発見、早期治療を期して、血液検査、健康相談のほか性感染症に対する正しい知識の普及に努めている。

#### ① 性感染症検査

表8-6 性感染症検査実施状況 (平成26年度)

検査項目	梅毒	性器クラミジア	
実施実人員数	199	196	
検査結果 (陽性数)	1	IgA	39
		IgG	43

#### ② エイズ予防

エイズに対する知識の普及啓発と匿名相談・匿名検査体制の確立により、二次感染防止を図っている。

- ・相談業務 : 保健所及び各健康福祉センターで実施。
- ・HIV抗体検査 : 保健所で実施。(検査日は原則として毎月第1、第3木曜日)
- ・予防知識の普及 : 予防講演会、パンフレットの配布、パネル展示等。

表8-7 エイズ予防相談・検査実施状況 (平成26年度)

区分		総数	保健所	板橋	上板橋	赤塚	志村	高島平
相談件数	電話相談	346	344	-	1	-	1	-
	来所相談	440	439	-	-	-	1	-
検査件数		215	215	-	-	-	-	-

表8-8 予防知識普及の実施状況 (平成26年度)

区分	テーマ・内容	対象	参加者数
講演会	みんな知ってる？性のこと、HIVのこと	都立大山高等学校	184
講演会	みんな知ってる？性のこと、HIVのこと	都立北豊島工業高等学校	57
講演会	みんな知ってる？性のこと、HIVのこと	都立板橋高等学校	244
講演会	みんな知ってる？性のこと、HIVのこと	都立中央・城北職業能力開発センター板橋校	52 (2回実施)
講演会	エイズ・HIV感染症の最新知識 ～支援者として知っておきたいこと～	地域高齢者支援者 病院関係者	19
大学祭参加	ポスター・パネル展示、パンフレット配付等	帝京大学 東京家政大学 大東文化大学 日本大学医学部 淑徳短期大学	…

**(4) 肝炎ウイルス検診(B型、C型肝炎ウイルス)＜予防対策課＞**

区民一般健康診査等と同時期に実施する肝炎ウイルス検診対象者を除き、区内在住・在勤者で過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない者を対象に実施した。

表8-9 肝炎ウイルス検査実施状況 (平成26年度)

実施回数	受診者数	陽性者数	
		HBs抗原	HCV抗体
9	77	1	2

**(5) 風しん抗体検査＜予防対策課＞**

先天性風しん症候群の予防を目的として、平成26年度から風しんワクチン接種事業と合わせて風しん抗体検査事業を実施した。

表8-10 風しん抗体検査実施状況 (平成26年度)

実施実人員	287人
-------	------

**(6) 結核予防＜予防対策課・健康福祉センター＞**

結核事情は、予防対策の進展、化学療法を中心とする治療法の進歩、公衆衛生及び生活水準の向上等により、登録患者数、死亡率は年々減少してきたが、ここ数年は減少率が鈍化している。

平成25年のり患率は、全国16.1、東京都20.1、板橋区25.8となっている。新登録者を年齢階級別にみると、80歳代の登録者が最も多く、続いて60歳代と70歳代、40歳代の順となっている。

結核は、今なお我が国最大の感染症であることに変わりなく、今後とも引き続き啓発に努める必要がある。

なお、平成19年3月31日、結核予防法は廃止され、平成19年4月1日から結核は「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に統合された。

① 患者登録状況

保健所では、医師からの届出に基づき、区内に居住する結核患者について結核登録票を備え、症状、治療状況等を記録し、結核患者及びその家族等に対する健診の実施、服薬・療養支援、その他感染防止措置などの指導を行っている。

なお、平成26年の新登録患者数は119人、り患率は人口10万人に対して21.9であった。

$$\left[ \frac{\text{新登録患者数119人}}{\text{総人口 543,076人}} \times 10\text{万人} \right] \doteq 21.9$$

※ 総人口は、平成26年10月1日現在(外国人を含む)

表8-11 結核登録患者数

(結核サーベイランス年報 平成26年12月31日現在)

年齢階層別	総数	活動性結核									不活動性結核	活動性不明	（別掲）	
		総数	肺結核活動性						活肺外結核性	治療中			観察中	
			総数	喀痰塗抹陽性		核菌陽性	その他の結核	菌陰性・その他						
				総数	初回									再治療
結核患者登録者	総数	335	97	72	32	32	-	28	12	25	208	30	30	113
	0～4歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	5～9歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
	10～14歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	15～19歳	4	2	2	1	1	-	1	-	-	2	-	2	6
	20～24歳	17	7	6	1	1	-	2	3	1	8	2	-	8
	25～29歳	18	5	4	2	2	-	-	2	1	9	4	3	12
	30～34歳	14	2	2	-	-	-	1	1	-	8	4	1	3
	35～39歳	22	4	4	2	2	-	2	-	-	17	1	3	3
	40～44歳	23	8	5	1	1	-	4	-	3	11	4	3	13
	45～49歳	19	4	4	3	3	-	1	-	-	14	1	2	6
	50～54歳	19	6	4	-	-	-	3	1	2	13	-	2	16
	55～59歳	15	4	3	2	2	-	1	-	1	10	1	1	14
	60～64歳	24	6	5	2	2	-	3	-	1	17	1	4	11
	65～69歳	26	7	4	3	3	-	1	-	3	16	3	4	5
	70～74歳	27	8	6	4	4	-	1	1	2	18	1	3	3
	75～79歳	25	7	5	1	1	-	3	1	2	14	4	-	3
	80～84歳	35	8	6	4	4	-	2	-	2	24	3	-	-
	85～89歳	29	10	5	-	-	-	2	3	5	18	1	-	1
	90歳以上	18	9	7	6	6	-	1	-	2	9	-	-	-
新登録患者	総数	119	119	90	41	41	-	32	17	29	-	-	45	・
	0～4歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	・
	5～9歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	・
	10～14歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	・
	15～19歳	3	3	3	1	1	-	2	-	-	-	-	3	・
	20～24歳	7	7	5	1	1	-	1	3	2	-	-	2	・
	25～29歳	6	6	5	2	2	-	1	2	1	-	-	3	・
	30～34歳	4	4	4	-	-	-	2	2	-	-	-	1	・
	35～39歳	6	6	6	2	2	-	2	2	-	-	-	3	・
	40～44歳	9	9	6	2	2	-	4	-	3	-	-	7	・
	45～49歳	3	3	3	2	2	-	1	-	-	-	-	3	・
	50～54歳	8	8	5	1	1	-	3	1	3	-	-	3	・
	55～59歳	6	6	5	3	3	-	1	1	1	-	-	1	・
	60～64歳	7	7	5	2	2	-	3	-	2	-	-	7	・
	65～69歳	8	8	5	4	4	-	1	-	3	-	-	4	・
	70～74歳	10	10	8	5	5	-	2	1	2	-	-	3	・
	75～79歳	11	11	9	3	3	-	4	2	2	-	-	1	・
	80～84歳	10	10	7	5	5	-	2	-	3	-	-	1	・
	85～89歳	13	13	7	2	2	-	2	3	6	-	-	-	・
	90歳以上	8	8	7	6	6	-	1	-	1	-	-	-	・

※ 新登録患者とは平成26年1月～12月までの期間に新規に登録された新患者数(治療終了者等を含む)を示す。

表8-12 結核患者受療状況 (感染症サーベイランスシステム年報 平成26年12月31日現在)

受療状況	総 数	活 動 性 結 核								不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明	（感潜 別 在 染 性 掲 結 ） 症 核								
		総 数	肺 結 核 活 動 性					活 肺 外 結 核	結 核 菌 陽 性 の 他 の 菌 陰 性 の 他 の 結 核			結 核 菌 陽 性 の 他 の 結 核	結 核 菌 陰 性 の 他 の 結 核	結 核 菌 陰 性 の 他 の 結 核	結 核 菌 陰 性 の 他 の 結 核	結 核 菌 陰 性 の 他 の 結 核	結 核 菌 陰 性 の 他 の 結 核			
			総 数	喀痰塗抹陽性		結 核 菌 陽 性 の 他 の 結 核	結 核 菌 陰 性 の 他 の 結 核											結 核 菌 陰 性 の 他 の 結 核	結 核 菌 陰 性 の 他 の 結 核	結 核 菌 陰 性 の 他 の 結 核
				総 数	初 回															
総 数	335	97	72	32	32	-	28	12	25	208	30	30	113							
入 院	22	22	16	8	8	-	5	3	6	-	-	-	-							
外来(他疾患入院)	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-							
外来(通院)	74	72	54	22	22	-	23	9	18	-	2	30	-							
治療なし	238	2	1	1	1	-	-	-	1	208	28	-	113							
不 明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							

② 医療費公費負担

結核患者及び患者家族の経済的負担を軽減し、適正な医療の普及を図るため医療費の公費負担制度が設けられている。

この公費負担は、板橋区保健所に設けられている感染症診査協議会の診査を経て、保健所長が決定している。

表8-13 一般(37条の2)及び入院勧告(37条)患者結核医療費公費負担取扱件数(平成26年度)

項 目	区 分	総 数	社 会 保 険		国 民 健 康 保 険	生 活 保 護 法	後 期 高 齢 医 療 制 度	そ の 他
			本 人	家 族				
申 請	37条の2	275	54	29	79	34	79	-
	37 条	125	22	8	47	15	33	-
承 認	37条の2	275	54	29	79	34	79	-
	37 条	124	22	8	46	15	33	-
不承認	37条の2	-	-	-	-	-	-	-
	37 条	1	-	-	1	-	-	-

※ 「承認」とは、公費で負担することを承認したものである。

※ 「不承認」には、保留者を含んでいる。

表8-14 入院勧告患者数及び退院患者数 (平成26年度)

25年度末現在 入院勧告患者数	26年度 入院勧告患者数	26年度末現在 入院勧告患者数
8	42	4

③ 療育給付等

満18歳未満の者で結核治療で入院を必要とする者に対して医療給付等を行っている。

表8-15 療養給付取扱件数 (平成26年度)

認 定 件 数	0件	延 給 付 件 数	0件

④ 結核健康診断

法に基づき、患者の早期発見と発病予防を目的とする健康診断を実施している。

ア 定期の健康診断

区長、事業者、学校長、施設の長が実施責任者となって、法で定められた定期に実施している。

表8-16 区長が行ったX線検査 (平成26年度)

区 分	受診者数
65歳以上(特定健康診査等)	58,235

表8-17 事業者、学校長、施設の長が行ったもの(報告受理分) (平成26年度)

種 別	X線撮影	かくたん 検 査	その他 の 検 査	要医療	要観察	
総 数	21,207	20	33	-	-	
内 訳	事 業 者	12,947	14	1	-	-
	学 校 長	7,471	6	32	-	-
	施 設 の 長	789	-	-	-	-

イ 接触者健診

患者の家族、患者との接触者を対象に区長が実施責任者として実施している。

表8-18 接触者健診 (平成26年度)

	ツベルクリン 反応検査	QFT検査	X線撮影	かくたん 検 査	要医療	要観察
総 数	16	762	592	-	2	31
患 者 家 族	4	97	109	-	-	3
接触者(家族を除く)	12	665	483	-	2	28

※要医療には潜在性結核感染症を含む

ウ その他の健康診断

患者管理検診

結核登録患者のうち、i)要医療であるにもかかわらず治療中止又は未治療の者、ii)医療を必要としないと認められてから2年間医師の管理下でない者、iii)その他病状の不明の者を対象として随時、精密検査を実施し、的確な患者管理に努めている。

表8-19 患者管理検診実施状況 (平成26年度)

受 診 者 数	X線撮影	かくたん 検 査	その他 の 検 査	要医療	要観察
144	144	-	-	-	-

⑤ 日本語学校就学生結核検診

東京都における結核対策の重点的な対象者である外国人への対策として、区内の日本語学校就学生を対象に胸部X線検査を実施している。

表8-20 日本語学校就学生結核検診実施状況(平成26年度)

受 診 者 数	異常なし	要精密
444	434	10

## 9 予防接種

### (1) 定期予防接種<予防対策課・健康福祉センター>

予防接種法に基づいて予防接種を実施し、感染の恐れがある疾病の発生及びまん延予防を図っている。

表9-1 定期予防接種

(平成26年度)

種 別		対象者数	実 施 者 数		接種率(%)		
			接種完了者	予診のみの者			
B C G (結核)		4,458	4,430	58	99.4		
百日せき ジフテリア 破傷風	混合	第Ⅰ期 初回	第1回	...	12	-	...
		第2回	...	11	-	...	
		第3回	...	39	-	...	
		第Ⅰ期追加	...	976	-	...	
百日せき ジフテリア 破傷風 急性灰白髄炎	混合	第Ⅰ期 初回	第1回	4,559	4,485	2	98.4
		第2回	4,559	4,473	6	98.1	
		第3回	4,559	4,431	5	97.2	
		第Ⅰ期追加	4,566	3,916	2	85.8	
ジフテリア破傷風	第Ⅱ期	3,762	2,383	-	63.3		
急性灰白髄炎	ワクチン 不活性化	第Ⅰ期 初回	第1回	...	50	-	...
		第2回	...	174	-	...	
		第3回	...	243	-	...	
		第Ⅰ期追加	...	2,090	-	...	
麻しん風しん		第Ⅰ期	4,516	4,361	4	96.6	
		第Ⅱ期	3,922	3,828	2	97.6	
麻しん		第Ⅰ期	...	1	-	...	
日本脳炎 ※1	第Ⅰ期 初回	第1回	3,917	4,407	2	112.5	
		第2回	3,917	4,349	4	111.0	
		第Ⅰ期追加	5,823	4,087	-	70.2	
		第Ⅱ期	7,325	553	-	7.5	
ヒブ感染症	初回	第1回	4,582	4,740	-	103.4	
		第2回	4,582	4,421	1	96.5	
		第3回	4,582	4,355	1	95.0	
		追加	4,582	4,723	2	103.1	
小児の肺炎球菌 感染症	初回	第1回	4,582	4,807	1	104.9	
		第2回	4,582	4,454	1	97.2	
		第3回	4,582	4,389	1	95.8	
		追加	4,582	4,427	2	96.6	
ヒトパピローマウイルス 感染症 ※2	第1回	1,983	7	-	0.4		
	第2回	1,983	8	-	0.4		
	第3回	1,983	10	-	0.5		
水痘 ※3	第1回	18,908	7,449	1	39.4		
	第2回	1,120	510	-	45.5		
高齢者インフルエンザ	65歳以上	123,703	52,984	・	42.8		
	60～65歳未満	410	113	・	27.6		
高齢者の肺炎球菌 感染症 ※3	65歳等	25,166	9,105	・	36.2		
	60～65歳未満	410	76	・	18.5		

- ※1 平成17年から22年までの接種勧奨差し控えで接種の機会を逃した者への特例措置として、平成7年4月2日から平成19年4月1日生まれの者については20歳未満まで未接種回数分を接種することができる。平成26年度は、18歳になる者に対し第2期の接種勧奨を行った。
- ※2 平成25年度から引き続き接種の勧奨を差し控えている。
- ※3 平成26年10月1日より、水痘と高齢者の肺炎球菌感染症が定期接種に追加された。平成26年度は経過措置により、水痘は5歳に至るまでの者を、高齢者の肺炎球菌は年度中に65、70、75、80、85、90、95、100歳になる者と101歳以上の者および60歳から65歳未満の一定の障がい有する者を対象に実施した。

## (2)任意予防接種＜予防対策課＞

### ① 高齢者肺炎球菌ワクチン

平成26年10月1日から定期接種となり、この事業は9月30日で終了した。

表9-2 高齢者肺炎球菌ワクチン接種実施状況（平成26年度）

接 種 者 数	596	（平成26年4月～9月）
---------	-----	--------------

### ② 風しんワクチン

平成25年度より先天性風しん症候群の予防を目的に実施しており、26年度は風しん抗体検査事業と合わせて実施した。

表9-3 風しんワクチン接種実施状況（平成26年度）

接 種 者 数	445
---------	-----

## 10 在宅難病相談事業

### (1) 在宅難病患者訪問診療事業<健康福祉センター>

寝たきり等により受療が困難な在宅難病患者に対し、医療の確保と療養環境の向上を図ることを目的とし、東京都が東京都医師会に委託し、板橋区医師会が昭和63年度から実施、保健所・健康福祉センターが協力している事業である。

訪問診療時には地区担当保健師が同行し、訪問診療後のケース検討会にも参加している。

表10-1 訪問診療事業実施状況（平成26年度）

実人数	延人数
27	88

### (2) 在宅難病患者訪問相談<健康福祉センター>

相談を希望する患者または家族に対して、保健師が個人面接を行うとともに、必要に応じて訪問指導をし、日常生活の指導援助をしている。

表10-2 指導援助実施状況（平成26年度）

項目		総数	板橋	上板橋	赤塚	志村	高島平
訪問	実人数	58	21	9	4	12	12
	延人数	212	69	29	17	35	62
相談 (延)	総数	1,149	363	188	177	177	244
	面接	123	49	16	29	8	21
	電話	293	91	54	48	50	50
	その他	87	9	1	-	17	60
	関係機関連絡	646	214	117	100	102	113

### (3) 難病講演会<予防対策課>

難病患者や家族等を対象に、病気についての正しい知識と日常生活上の注意についての講演会を実施している。

表10-3 難病講演会実施状況（平成26年度）

テーマ	参加者数
目や口が乾く症状のある膠原病 シェーグレン症候群	50
関節リウマチの最新治療と療養	73

#### (4) 東京都が実施する在宅難病患者支援事業<予防対策課・健康福祉センター>

在宅難病患者の療養環境の整備を図ること目的に東京都が実施している。板橋区では利用の相談及び申請受付を行っている。

##### ①在宅難病患者医療機器貸与事業

在宅で吸入器及び吸引器を必要とする難病患者に対し、医療機器を貸与する。

(ただし、障害者総合支援法のサービスの利用が優先となる。)

表10-4 医療機器貸与事業利用状況(平成26年度)

利用者数	15
------	----

##### ②在宅人工呼吸器使用難病患者訪問看護事業

在宅で人工呼吸器を使用しており、主治医が診療報酬の回数を超える訪問看護が必要であると認めた難病患者に対し、訪問看護ステーション等に委託して年260回を限度に訪問看護を実施する。

表10-5 訪問看護事業利用状況(平成26年度)

利用者数	2
------	---

##### ③在宅難病患者一時入院事業

在宅難病患者を介護する家族等が病気等により一時的に介護できなくなった場合、患者が短期入院できる病床を都内医療機関に確保している。(平成26年度は18床)

1回の入院期間は最長1か月間で、年度内で90日までの入院が可能となっている。

表10-6 一時入院事業利用状況(平成26年度)

利用者数(延)	5
---------	---

## 11 公害健康被害補償

### (1) 公害健康被害補償給付＜予防対策課＞

公害健康被害被認定者に対し、療養の給付のほか6種類の給付を行っている。

表11-1 公害健康被害被認定者数 (平成27年3月31日現在)

認 定 疾 病		障 害 の 程 度	
総 数	1,479	総 数	1,479
慢性気管支炎	42	特 級	-
気管支ぜん息	1,436	1 級	1
ぜん息性気管支炎	-	2 級	47
肺 気 し ゅ	1	3 級	982
		級 外	449

### (2) 公害保健福祉・予防事業＜予防対策課・健康福祉センター＞

大気汚染によりそなわれた健康を回復・保持させるとともに、予防を図るために次の事業を実施している。

#### ① 家庭療養指導

区内在宅認定患者を家庭療養指導員が訪問し療養指導を行う。

表11-2 家庭療養指導実施状況 (平成26年度)

訪 問 指 導 件 数 ( 延 )	904
-------------------	-----

#### ② 水泳教室

水泳指導を行い基礎的体力の増進を図るとともに、指定疾病に係る知識普及に関する指導等を実施している。

表11-3 水泳教室実施状況 (平成26年度)

日 数	6
参 加 者 数 ( 延 )	129
対 象 者	小学1年生から6年生

#### ③ インフルエンザ予防接種助成事業

公害健康被害被認定者の健康保持を図るため、インフルエンザ予防接種費用の自己負担額を助成する。(平成23年度からすべてのインフルエンザ予防接種、すべての被認定者が助成対象となった。)

表11-4 インフルエンザ予防接種助成実施状況(平成26年度)

助 成 人 数	490
---------	-----

④ 健康相談

予防事業として、地域住民を対象に気管支ぜん息・慢性閉塞性肺疾患等呼吸器疾患に関する相談及び指導を行うとともに、当該疾患の予防、知識の普及及び意識の向上を図るため、講演会等を開催している。

表11-5 健康相談実施状況 (平成26年度)

開催回数	2
参加者数(延)	63

⑤ 乳幼児呼吸器健診

1歳6か月児を対象に問診等を行い、リスク児に対して、医師による指導、相談を行うことにより、ぜん息発症の予防、早期発見を図る。

表11-6 乳幼児呼吸器健診実施状況 (平成26年度)

項目	開催回数	受診者数	場所
一次問診	102	4,270	各健康福祉センター
専門医健診	12	138	板橋・赤塚・志村健康福祉センター

(3) 大気汚染に係る健康障害者に対する医療券交付<予防対策課>

大気汚染の影響を受けたと推定される疾病にかかった者(18歳未満)に対し、疾病の認定を行い、医療券を交付し、健康障害の救済を図っている。

平成27年度から、制度改正により新規申請は18歳未満に限られる。ただし、18歳以上の既認定者は、引き続き医療費助成の対象となる。

表11-7 大気汚染障害者被認定者数 (平成27年3月31日現在)

認定疾病	人数
慢性気管支炎	-
気管支ぜん息	3,635
ぜん息性気管支炎	-
肺気しゅ	-
合計	3,635

## 12 精神保健福祉

### (1) 地域精神保健福祉連絡協議会<予防対策課>

精神保健福祉活動を総合的かつ効果的に推進するために、地域精神保健福祉連絡協議会を開催した。また、講演会を実施することで、地域連携のネットワークの構築を図った。

表12-1 地域精神保健福祉連絡協議会（平成26年度）

開催回数	1
------	---

表12-2 協議会講演会（平成26年度）

開催回数	2
参加者数	55

### (2) 精神保健福祉に関する相談支援

#### ① 精神保健福祉相談等<予防対策課・健康福祉センター>

精神疾患が疑われる者又は精神障がい者、およびその家族等を対象に、医師、保健師、心理職等による相談や家庭訪問、及び精神科専門医相談、酒害ミーティングを実施している。

表12-3 精神保健福祉相談(予防対策課・健康福祉センター)（平成26年度）

区分	社会復帰	老人精神保健	アルコール・薬物・ギャンブル	思春期	心の健康づくり	その他 (摂食障害等)	計
人数(実)	231	434	118	47	1,563		2,393
人数(延)	3,183	326	692	398	5,227	16,855	26,681
所内相談	2,954	291	648	364	4,834	15,458	24,549
家庭訪問	229	35	44	34	393	1,397	2,132

※ 所内相談の内容は、面接・電話・関係機関連絡・文書である。

表12-4 精神科専門医相談(健康福祉センター)（平成26年度）

実施回数	95
参加者数(延)	180

表12-5 ひきこもり相談(予防対策課)（平成26年度）

項目	実施回数	参加者数(延)
専門医相談	12	15
家族教室	23	235

表12-6 酒害ミーティング(予防対策課)（平成26年度）

実施回数	36
参加者数(延)	170

#### ② 精神保健福祉講演会<予防対策課>

精神保健福祉におけるさまざまなテーマに関して講演会を実施し、支援対象者および区民への知識の普及と啓発を行っている。

表12-7 精神保健福祉講演会（平成26年度）

実施回数	3
参加者数(延)	131

③ こころのリハビリテーショングループ(デイケア)＜健康福祉センター＞

社会参加や障がい福祉サービス利用が困難な精神障がい者等に対して、社会的自立への動機づけと社会参加の促進を図るため、ミーティング、創作活動、スポーツ、レクリエーション及び生活実習等のグループ活動を、1日制で週1回実施している。

表12-8 こころのリハビリテーショングループ (平成26年度)

項 目	総 数	板 橋	赤 塚	志 村
実 施 回 数	145	49	48	48
利 用 者 ( 実 )	53	15	15	23
利 用 者 ( 延 )	856	229	311	316

④ こころの健康づくり講座＜健康福祉センター＞

ライフステージの中で育児や働き盛りなど、ストレスが高まる時期にある方を対象に、その時期に多い心の問題についての上手な対処法などについて普及・啓発を行っている。

表12-9 こころの健康づくり講座 (平成26年度)

実 施 回 数	5
参 加 者 数 ( 延 )	153

⑤ うつ病家族教室＜予防対策課＞

うつ病の基本知識及び適切な対処法の習得、家族のストレスマネジメント法の習得を目指し、うつ病家族の支援を図っている。

表12-10 うつ病家族教室 (平成26年度)

実 施 回 数	10
参 加 者 数 ( 延 )	148

⑥ 自殺対策事業＜予防対策課＞

自殺予防の相談ができる区民・区職員を増やすために実践的なゲートキーパー研修を行った。また、引き続き、自殺対策シンポジウムを開催した。

表12-11 ゲートキーパー研修、自殺対策シンポジウム(平成26年度)

実 施 日 数	2
参 加 者 数 ( 延 )	80

**(3) こころの健康サポーター養成＜予防対策課＞**

精神障がいやメンタルヘルスについて正しい知識と意識を持ち、精神障がい者を支援できる区民を増やすことを目的として、「こころの健康サポーター養成講座」を実施している。

表12-12 こころの健康サポーター養成 (平成26年度)

こころの健康サポーター登録人数	167人(27. 3. 31現在)
フォローアップ教室(サポーター広場)	12回 延 217人

**(4) 医療保護入院における区長同意＜予防対策課＞**

精神障がい者が、医療及び保護のため入院の必要がある場合で保護者がいないとき、精神保健福祉法に基づき、区長が保護者となり入院同意の手続きを行っている。

表12-13 区長同意件数(平成26年度)

同 意 件 数	62
---------	----

**(5) 成年後見制度利用支援事業<健康福祉センター>**

板橋区長等の申立により成年後見等が開始された低所得の方を対象とした成年後見人等に対する報酬の助成を行っている。

表12-14 成年後見制度利用支援事業 (平成26年度)

区長申立件数	6	報酬助成件数	4
--------	---	--------	---

**(6) 精神保健福祉に関する都の経由事務<予防対策課・健康福祉センター>**

保健所における精神保健行政の一環として、自立支援医療(精神通院医療)の申請、小児(18歳未満)精神障がい者入院医療費助成の申請、警察官通報の処理、医療保護入退院届、定期病状報告、措置症状消退届等の経由事務を行っている。

表12-15 自立支援医療申請取扱状況 (平成26年度)

申 請 件 数		11,370		
疾 患 別 内 訳	統合失調症	3,260	精神遅滞	165
	気分(感情)障害	4,560	心理的発達の障害	270
	器質性精神障害	263	行動・情緒障害	99
	薬物による精神行動障害	350	てんかん	558
	身体的要因に関連した行動障害	45	睡眠障害	-
	神経症障害・ストレス関連障害	1,150	不 明 ※	499
	人格・行動障害	151		

※ 疾患不明は、他区・他県からの転入者、変更や再交付申請者等である。

表12-16 小児精神障がい者入院医療費助成制度申請取扱状況(平成26年度)

取 扱 件 数	5
---------	---

表12-17 精神障害者保健福祉手帳所持者数(平成26年度)

総 数	1 級	2 級	3 級
3,793	205	1,774	1,814

表12-18 警察官通報処理取扱状況(平成26年度)

通 報 件 数	114
---------	-----

表12-19 医療保護入退院届、定期病状報告、措置症状消退届等取扱状況(平成26年度)

取 扱 件 数	4,145
---------	-------

### 13 難病医療費助成制度等 < 予防対策課・健康福祉センター >

難病等にかかり治療を必要とする人に対し、国・東京都では医療費助成制度を設けている。板橋区の各健康福祉センターで区民の申請を受付ける等経由事務を行っている。

#### (1) 難病医療費助成

平成27年1月に難病の患者に対する医療等に関する法律が施行され、医療費助成の対象となる指定難病が110疾病となった。(旧制度の対象疾病は56疾病)

表13-1 難病医療費助成制度認定者数【国対象疾病(指定難病)】 (平成26年度)

No.	疾病名	人数	No.	疾病名	人数
1	球脊髄性筋萎縮症	7	43	顕微鏡的多発血管炎	41
2	筋萎縮性側索硬化症	27	44	多発血管炎性肉芽腫症	14
3	脊髄性筋萎縮症	3	45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 ※	-
4	原発性側索硬化症 ※	-	46	悪性関節リウマチ	31
5	進行性核上性麻痺	30	47	バージャー病	17
6	パーキンソン病	356	48	原発性抗リン脂質抗体症候群 ※	-
7	大脳皮質基底核変性症	21	49	全身性エリテマトーデス	263
8	ハンチントン病	3	50	皮膚筋炎/多発性筋炎	88
9	神経有棘赤血球症 ※	-	51	全身性強皮症	115
10	シャルコー・マリー・トゥース病 ※	-	52	混合性結合組織病	28
11	重症筋無力症	80	53	シェーグレン症候群 ※	3
12	先天性筋無力症候群 ※	-	54	成人スチル病 ※	-
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	71	55	再発性多発軟骨炎 ※	1
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/ 多単性運動ニューロパチー	22	56	ベーチェット病	86
15	封入体筋炎 ※	-	57	特発性拡張型心筋症	69
16	クロー・深瀬症候群 ※	-	58	肥大型心筋症	19
17	多系統萎縮症	33	59	拘束型心筋症	-
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を 除く。)	83	60	再生不良性貧血	35
19	ライソゾーム病	2	61	自己免疫性溶血性貧血 ※	2
20	副腎白質ジストロフィー	-	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症 ※	2
21	ミトコンドリア病	6	63	特発性血小板減少性紫斑病	102
22	もやもや病	57	64	血栓性血小板減少性紫斑病 ※	-
23	プリオン病	-	65	原発性免疫不全症候群	8
24	亜急性硬化性全脳炎	-	66	IgA 腎症 ※	3
25	進行性多巣性白質脳症 ※	-	67	多発性嚢胞腎 ※	4
26	HTLV-1関連脊髄症 ※	-	68	黄色靱帯骨化症	6
27	特発性基底核石灰化症 ※	-	69	後縦靱帯骨化症	90
28	全身性アミロイドーシス	7	70	広範脊柱管狭窄症	14
29	ウルリッヒ病 ※	-	71	特発性大腿骨頭壊死症	37
30	遠位型ミオパチー ※	-	72	下垂体性ADH分泌異常症	12
31	ベスレムミオパチー ※	-	73	下垂体性TSH分泌亢進症	1
32	自己食空胞性ミオパチー ※	-	74	下垂体性PRL分泌亢進症	8
33	シュワルツ・ヤンペル症候群 ※	-	75	クッシング病	4
34	神経線維腫症	18	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	-
35	天疱瘡	31	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	16
36	表皮水疱症	-	78	下垂体前葉機能低下症	38
37	膿疱性乾癬(汎発型)	8	79	家族性高コレステロール血症(ホ モ接合体)	-
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	-	80	甲状腺ホルモン不応症 ※	-
39	中毒性表皮壊死症	-	81	先天性副腎皮質酵素欠損症 ※	-
40	高安動脈炎	31	82	先天性副腎低形成症 ※	-
41	巨細胞性動脈炎 ※	-	83	アジソン病 ※	-
42	結節性多発動脈炎	13	84	サルコイドーシス	83
			85	特発性間質性肺炎	17

No.	疾病名	人数	No.	疾病名	人数
86	肺動脈性肺高血圧症	8	99	慢性特発性偽性腸閉塞症 ※	-
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	-	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症 ※	-
88	慢性血栓性肺高血圧症	8	101	腸管神経節細胞僅少症 ※	-
89	リンパ管筋腫症	2	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群 ※	-
90	網膜色素変性症	80	103	CFC症候群 ※	-
91	バッド・キアリ症候群	-	104	コステロ症候群 ※	-
92	特発性門脈圧亢進症 ※	-	105	チャージ症候群 ※	-
93	原発性胆汁性肝硬変	94	106	クリオピリン関連周期熱症候群 ※	-
94	原発性硬化性胆管炎 ※	-	107	全身型若年性特発性関節炎 ※	-
95	自己免疫性肝炎 ※	-	108	TNF受容体関連周期性症候群 ※	-
96	クローン病	139	109	非典型溶血性尿毒症症候群 ※	-
97	潰瘍性大腸炎	657	110	ブラウ症候群 ※	-
98	好酸球性消化管疾患 ※	-		合計	3,154

※ 平成27年1月1日からの新規対象疾病

表13-2 難病医療費助成制度認定者数【都対象疾病】 (平成26年度)

No.	疾病名	人数	No.	疾病名	人数
1	進行性筋ジストロフィー	10	13	ミオトニー症候群	18
2	ウィルソン病	12	14	特発性好酸球増多症候群	1
3	脊髄空洞症	6	15	アレルギー性肉芽腫性血管炎 ※2	20
4	悪性高血圧	-	16	強直性脊椎炎	23
5	骨髄線維症	3	17	びまん性汎細気管支炎	4
6	ネフローゼ症候群	63	18	遺伝性(本態性)ニューロパチー	5
7	母斑症	7	19	遺伝性QT延長症候群	3
8	シェーグレン症候群 ※2	68	20	先天性ミオパチー	2
9	多発性嚢胞腎 ※2	20	21	成人スティル病 ※2	24
10	特発性門脈圧亢進症 ※2	4	22	網膜脈絡膜萎縮症	-
11	原発性硬化性胆管炎 ※2	4	23	自己免疫性肝炎 ※2	47
12	肝内結石症	-		合計	344

※2 平成27年1月1日より国疾病へ移行。経過措置対象者のみ。

## (2) 特定疾患治療研究事業

表13-3 特定疾患治療研究事業認定者数 (平成26年度)

No.	疾病名	人数
1	スモン	6
2	重症急性膵炎 ※3	7
3	劇症肝炎 ※3	2

※3 平成27年1月1日以降は経過措置対象者のみ。

## (3) 特殊医療費助成

表13-4 特殊医療費助成制度認定者数 (平成26年度)

No.	疾病名	人数
1	先天性血液凝固因子欠乏症等(国指定)	25
2	人工透析を必要とする腎不全(都単独)	1,063

## (4) B型・C型ウイルス肝炎治療医療費助成

表13-5 認定者数 (平成26年度)

人数	283
----	-----

※B型・C型ウイルス肝炎のインターフェロン治療及びB型ウイルス肝炎の核酸アナログ製剤治療、C型ウイルス肝炎のインターフェロンフリー治療

(注) 平成27年1月に新たな難病医療費助成制度が始まり、制度が変更となったため、平成26年度より制度ごとに分類し、実績は認定者の実人数とした。